



徳島県電気工事業工業組合は、昭和37年の設立以来、60年以上にわたり、徳島県下の電気工事業界を牽引してきた中核的な組織です。電気工事の技術向上、安全確保、人材育成、地域貢献など、多岐にわたる活動を通して、地域社会の発展に貢献しています。

💡 組合概要

主たる業種	電気工事業
組合専従者数	2名
組合員数	547名
組合員の資格	電気工事業を営み、電気工事業法による登録（建設業許可業者は届出）届出をしている事業者
設立年月日	昭和37年4月14日
出資金	11,446千円

事業内容

- (1) 電気工事業に関する指導及び教育
- (2) 電気工事業に関する情報又は資料の収集及び提供
- (3) 一般用電気工作物の調査業務に関する事業
- (4) 組合員の行う一般用電気工作物の保守管理業務の共同受託
- (5) 組合員のためにする共同施設の設置及び運営
- (6) 組合員の取扱品の共同購入
- (7) 組合員に対する事業資金の貸付け（手形の割引を含む。）及び組合員のためにするその借入
- (8) 組合員の福利厚生に関する事業

💡 1. 設立の背景と目的

高度経済成長期を迎えた昭和30年代、電化製品の普及に伴い、電気工事の需要は爆発的に増加しました。そのような時代背景が後押しするなかで、電気工事の近代化・合理化、技術向上、安全確保、地域社会への貢献を目指して、昭和37年4月14日、電気工事業者255名が集結し徳島県電気工事業工業組合は設立されました。

組合設立が、電気工事業界の健全な発展と地域社会の安全・安心に大きく貢献したのです。

💡 2. 組合の沿革

昭和30年	徳島県電気工事協同組合発足（組合員55名）
昭和32年	徳島県電気工事組合連合会発足
昭和37年4月	徳島県電気工事業工業組合発足（組合員255名）
平成24年12月	災害時における電気設備の応急復旧に関する協定を徳島県と締結
平成28年6月	現住所へ事務所移転 （徳島市昭和町3丁目35番地2 労働福祉会館 別館3階）
令和2年1月	「子ども110番の家」・「子ども110番の車」に指定

💡 3. 共同事業の実施体制

徳島県電気工事業工業組合は、9つの支部から構成される組合です。





💡 4. 共同事業等の取り組み内容

(1) 電気工事業に関する指導及び教育

当組合は電気工事士の育成に力を入れており、電気工事士などの国家資格取得を目指す人向けの講習会や、既に資格を保有している人向けの最新の技術・知識を習得するための研修会などを開催しています。

急速に変化する電気工事業界において、最新の情報は不可欠です。組合員のために、新技術の情報や法改正の情報、業界動向など、様々な情報を収集し提供しています。



(2) 組合員の取扱品の共同購買

電気工事資材の共同購入は、組合員の仕入れコスト削減に大きく貢献しています。各種資材、物品の共同購入、斡旋、及び委託販売位を実施。組合の規模を活かして電材業者と価格交渉を行い、組合員に有利な価格での購入を実現しています。

(3) 電気工事士免状交付・電気工事業登録業務

徳島県からの委託を受け、電気工事士（第一種・第二種）免状交付及び電気工事業の登録・届出・変更届の受付業務を行っています。また、5年ごとの更新手続きのサポートも実施。更新時期の案内を組合から組合員へ通知することで、組合員の更新忘れを防ぎ、手続きの負担が軽減できました。

(4) 産学交流促進事業

令和6年度は初の試みとして、新卒採用を希望する企業と高等教育機関の交流事業を実施しました。組合のスケールメリットを活かして学校にアプローチすることで、優秀な人材の県内定着を狙います。生徒だけでなく保護者へのPRも実施しました。



(5) 組合員の福利厚生に関する事業

組合員の福利厚生事業として、全日電工連の保険を団体扱いで提供しています。組合員は割安な保険料で充実した保障を受けることが可能です。

さらに、電気工事の現場で必須となる車両を、組合員が割安な料金でリースできる優待制度も設けるなど、組合員の事業環境づくりをサポートしています。

(6) 一般用電気工作物の調査業務に関する事業

四国電力送配電(株)からの委託を受け、一般家庭や事業所の電気設備の安全点検を定期的に実施しています。

💡 5. 地域貢献・社会貢献について

(1) 災害時における電気設備の応急復旧

平成24年に「災害時における電気設備の応急復旧に関する協定書」を徳島県と締結しました。災害時に県有施設の電気設備などに被害が発生した場合には、組合員が協力して迅速な電力復旧活動を実施します。大規模災害を想定した災害復旧訓練を関係機関と合同で実施し、南海トラフ地震等の災害に備えた体制を整備しています。



(2) 電気使用安全月間における啓発活動

毎年8月の「電気使用安全月間」に合わせて、電気使用の安全に関するPR活動や、街路灯の清掃、照明角度の調整、故障の有無の点検ボランティアを実施しています。

鴨島、池田の街路灯の清掃点検は、電気設備の点検を通して電気事故の未然防止となるだけでなく、地域住民の安全な夜間歩行環境の確保に



も貢献していると好評です。また、電気の安全な使用方法に関するパンフレットやチラシを配布することで、地域住民の電気安全意識の向上に努めています。

(3) 子ども見守り活動への参加

「子ども 110 番の家」の設置や、パトロールカーによる見守り活動など、地域の子どもの安全確保に貢献しています。当組合員の車両には「子ども 110 番」のステッカーを掲示しています。地域の見守り役として、不審者情報や子どもたちの安全に関する情報を共有するなど、地域全体で子どもを見守る体制が構築できることが当組合の目標です。



(4) ものづくり体験教室の開催

青年部会が中心となり、小中学生を対象としたものづくり体験教室を開催しています。電気工事の楽しさや魅力を伝えるだけでなく、ものづくりを通して、科学技術への興味関心を高めてもらうことを目的です。

体験教室では、LED ライトの製作や簡単な電気回路の実験など、子どもたちが楽しみながら学べるプログラムを用意しています。また、出前授業の開催など、電気工事業界の魅力を伝え、将来の技術者を育成する取り組みも行ってきました。



💡 6. 組合設立・組織化の効果・メリットについて

組合設立による最大のメリットの一つは、組合員間の活発な情報共有です。最新技術の動向や法改正の情報、業界全体のトレンドなど、事業運営に不可欠な情報を迅速に共有しています。さらに、組合が主催する技術講習会や研修会は、実践的なスキル向上に役立ち、組合員全体の技術力底上げに貢献しています。互いに学び合うことで、個々の成長はもちろんのこと、業界全体の技術力向上という好循環が生まれていると感じます。



共同事業によるコスト削減効果も大きなメリットです。共同購買事業では、組合の規模を活かしたスケールメリットを最大限に活用することで、電気工事資材などを通常よりも低い価格で購入することが可能になります。

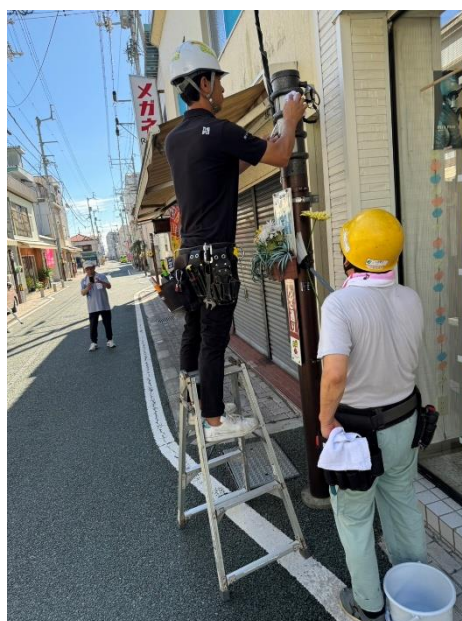
組合活動は、事業活動のサポートだけでなく、地域社会への貢献活動にも繋がっています。災害時の復旧活動や子ども見守り活動などを通して、地域社会の安全・安心に貢献することで、組合全体のイメージ向上に繋がり、個々の組合員の事業活動にもプラスの影響が生まれることでしょう。

💡 7. 今後の方向性について

新たな技術革新や電気需要の拡大により、業界構造は大きく変化しています。このような状況下において、当組合は、組合員減少に歯止めをかけ、次世代を担う若い世代が活躍できる環境づくりに注力しなければなりません。

第一の指針は、人材育成の強化です。若手技術者の育成はもちろんのこと、資格取得支援や多様な人材の確保にも積極的に取り組みます。特に、青年部の活動を活性化させ、彼らが中心となって組合を盛り上げていく体制を構築することで、組織全体に新たな活力を注入します。第二の指針は、新技術への対応です。DXにより様々な技術革新が現場の効率化を加速させています。組合は、これらの新技術に関する情報を積極的に組合員へ提供し、新技術導入を支援します。

さらに、地域貢献活動として、災害復旧活動への更なる注力、地域イベントへの積極的な参加は欠かせません。地域住民との交流を深め、地域社会に必要とされる存在であり続けるよう、活動の幅を広げていきます。



💡 8. 中央会を利用して良かった点について

中央会との連携を通して、組合員の事業活動が活性化されています。特に、最新の情報を提供してくれたり関係機関とハブの役割を担ってくれたり、中央会と連携することで当組合は恩恵を受けています。

例えば、令和5年に施行された石綿対策規制強化に先立ち、中央会はいち早くその情報を提供してくれ、石綿作業主任者資格の取得のための講習会の開催をサポートしてくれました。おかげで累計300名以上の組合員が石綿作業主任者資格を取得できました。

中央会のもう一つの大きなメリットは、各種補助金に関するサポートです。中央会は、組合にとって活用が見込める補助金を厳選して紹介してくれ活用のサポートをしてくれます。中央会との連携は、組合の活動を多方面から支え、組合員の事業活動を活性化させるための大きな力となっています。

💡 9. 中央会担当指導員のことば



阿部課長

徳島県の電気工事業界の顔として県下9支部との連携のもと、資格取得講習会や技能講習会による技術革新・後継者育成に注力なされています。また、自治体との災害時復旧についての協定や子ども見守り活動、街路灯の清掃・点検ボランティアなど積極的に活動し、住民の暮らしを支える業界として地域住民からの信頼を得ています。

官公庁への申請事務代行や、ものづくり体験教室などのスケールメリットを活かした学校との連携にも取り組まれており、業界の課題解決のため常にチャレンジする姿勢は、組合員からも高い評価を得ています。

徳島の安全安心を守る、電気のプロフェッショナル

徳島県電気工事業工業組合は、60年以上もの間、電気を通して徳島の未来を照らし続けてきました。安全・安心な暮らしを支える電気工事のプロ集団として、技術の研鑽、人材育成、そして地域貢献に力を注いでいます。

私たちは、電気工事を通じて人と人、人と街、そして現在と未来を繋いでいきます。変化の激しい時代だからこそ、常に新しい技術を取り入れ進化し続け、社会との繋がりを大切に、地域の発展に貢献していきます。



組合代表者（役職・氏名） 理事長 川西 正夫
住所 徳島市昭和町3丁目35番地2
URL <https://toku-denki.or.jp/>
電話番号 088-622-7377
FAX番号 088-622-7376

